

子育てに関連する 気になる数字

年間出生数

平成10年	182人
平成15年	177人
平成20年	180人
平成25年	150人
平成30年	145人

(香美市人口ビジョン参照)

市の年間出生数は、わずかながら減少の傾向となっています。反面、年間死亡数は年によって増減はありますが、わずかながら増加しています。継続的に死亡数が出生数を上回っていることが、人口減少の一つの要因となっています(年間死亡数:約400人)。

人口減少を食い止めるためには、出生数を増やすことが求められ、そのためには、子育てしやすい環境づくりが必要となります。

転入超過数が多かった 四国の市町村(2018)

香美市	210人
松前町(愛媛)	200人
善通寺市(香川)	155人
伊予市(愛媛)	114人
板野町(徳島)	90人

(出所:日本経済新聞/総務省「人口移動報告」)

転入超過数とは、転入者から転出者を引いた数がプラスになる数を言います。反対に、転入者から転出者を引いた数がマイナスになるものを転出超過と言い、2018年四国では、全95市町村のうち、71の市町村が転出超過の状態となっています。転出超過の状態が続くと、地域経済へも大きくマイナスの影響を与えることになり、各市町村では、転入者を多くし、転出者を少なくする努力を行っています。

2018年は香美市が四国で、最も転入超過数が多くなりました。これは、地震や津波に強い地理的条件、移住定住施策の充実などありますが、子育て支援の充実が一つの大きな要因になっていると考えられます。



特集

香美市の子育て支援

生まれ育った
ことに
誇りを持てる
町を
目指して

子育てを楽しくして

今月号は、育児中の方や、これから親になっていく方のための『子育て特集』です。

今回は、子育て中のママやパパが集まる場所、子どもを預けられる場所など、市内の子育てサポート団体にスポットを当てました。

ここ香美市で子どもを育てることになったためぐり合わせ、すぐに成長していく子どもたち、そのかけがえのない子育ての時間を、少しでも楽しく過ごしていただきたいと思えます。

子どもたちの笑顔は宝物、みんなで見守り育てましょう

子育ては楽しいものですが、つらいこともあります。そんなとき、「かわいい赤ちゃんやね」「子育て大変なのに、頑張ってるね」の言葉や、バスに乗るときなどに、ベビーカーを上げるのを手伝ってくれる市民の優しさが、ママやパパをどれだけ勇気づけることでしょう。

社会構造の変化により、核家族化や人間関係が希薄になっている昨今、子育てはしにくい環境になっているのかもしれない。

子どもたちは、高齢化が著しいこの町にあって、大切な宝物です。縁あってこの町で子育てをすることにになった家族を、市民みんなで助け、支えていきたいと思います。